

中級者16名、初級者5名で小銭の負担は初級者が多く、会計の負担は比較的軽いと考えられる。

要は現行より集金額が100円少なくなるだけ。運営費集金で、小銭(900円)の準備が煩雑と受け取られた方が多かったのでと推察もできる。

現在はキャッシュレスが進行中、中には現金は持ち歩かない人もいようだ。小銭の準備の煩雑さをなくす方法の一つとして電子マネーの導入が考えられる。

例えばスマホでならば1円単位の小銭であっても集金は簡単だ。しかし、企業への手数料等を調査・検討する必要がある。



スマホ決済の利用料率(参照)

新監事を任命

2023年に入って監事2名が退会し、空席となっていました。新たに監事に任命されたのは下記の2名。

監事 小沢 まち子

監事 大槻 靖枝

なお、任期は2023年12月末日まで。

また、長らく美心会の活動を支えてくれた門屋副会長が家庭の都合で副会長を辞任された。

朝の解錠、周到な換気対策と消毒、帰りの施錠までほとんど休み無く実施していただきました。お陰で感染者ゼロでした。有り難うございました。

副会長は一名空席となったが次期役員改選まで現行の体制で運営される。

3月13日以降の コロナ対策

勝浦市市民課・健康管理係は3月13日(月)以降のマスク着用について次のように通達した。

個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねる。

ただし、一定の場面では「感染から身を守るため」や「周囲の方に感染を広げないため」マスクの着用が効果的な場合がある。本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう配慮をする。



着用が効果的な場合

- ①医療機関を受診するとき
- ②高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などを訪問するとき
- ③通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバスに乗車するとき(新幹線や高速バスを除く)
- ④新型コロナウイルス感染症の流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行くとき

症状がある場合

症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となった方、同居する家族が陽性となった場合は外出を控える。通院などでやむをえず外出するときは、人混みは避けマスクを着用する。

子どものマスク着用について

子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げにならないように配慮する。なお、感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得る。ただし、そのような場合でも、子どものマスク着用については、健康面などへの影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をする。

基本的な感染対策

「三つの密の回避」「人と人の距離の確保」「手洗いなどの手指衛生」「換気」は引き続き実施する。